

事業番号	02 05 02	事業改善シート (31年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課	
		実施期間	S42 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保		5-1 多様性を尊重する共生社会づくり			
	3-9 本州中央部広域交流圏の形成					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<p>○県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられているが、沿線人口の減少・少子高齢化などの影響による輸送人員の減少に加え、施設・設備の老朽化への対応、駅舎のバリアフリー化など新たな要請への対応が求められるなど、事業者の経営環境は厳しさを増しており、事業者の努力のみで、これら課題に対応しながら県内鉄道路線を維持することは困難となっている。</p> <p>○北陸新幹線は1997年10月に高崎・長野間が、2015年3月に長野・金沢間が開業した。また、2012年に着工された金沢・敦賀間については、2022年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間については、2017年3月に全区間のルートが決定されたところであり、引き続き、金沢以西の全線を早期に整備する必要がある。</p>	31年度 予算額	434,271 千円
			職員数
目指す姿	<p>○鉄道の利用促進や活性化への取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対する支援を通じて、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道の利用促進、安全性・サービス向上を図り、鉄道の維持と住民の足を守る。</p> <p>○北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。</p> <p>(主な実施内容:鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、鉄道駅における段差の解消のために必要なエレベーター等の設置に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動等)</p>		

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	31要求	31予算案	指標及びその達成状況						
						No	成果指標	29年度末	30年度末 (見込)	31年度		
										目標値	成果	達成状況
コスト	前年度繰越	20,000	52,185									
	当初予算	161,539	179,612	434,271	434,271							
	補正予算	35,294										
	合計(A)	216,833	231,797	434,271	434,271							
	Aの財源	一般財源	144,803	176,747	158,321	158,321						
		県債	72,000	55,000	273,000	273,000						
		国庫支出金										
		その他	30	50	2,950	2,950						
	決算額(B)	164,648										
	概算人員費	職員数(人)	3	3	3	3						
	概算人員費(C)	24,306	24,306	24,306	24,306							
	概算事業費(B(A)+C)	188,954	256,103	458,577	458,577							

成果指標 設定理由	<p>①・②県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、鉄道キロの維持と重大事故の発生数を成果指標に設定</p> <p>③2020年度までに1日の利用者3,000人以上の駅についてはバリアフリー設備を設置するという国の基本方針を達成するため、エレベーター等の設置駅数を成果指標に設定</p>
--------------	--

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	要求どおり
--------------	-------

2 事業を構成する細事業の内容

No	細事業名	31年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	30年度 (当初)	31年度	
					(要求)	(予算案)
1	鉄道振興対策事業費	①地域鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助金(しなの鉄道(株)が行う車両更新費用等に対する補助等) ②鉄道事業者が行う鉄道駅におけるエレベーター等の設置に対する補助金 ③在来線の活性化に向けて沿線市町村等で組織された期成同盟会の負担金 ④マイカー通勤から公共交通機関利用への転換を促進させるためのモデル事業実施に対する負担金	2.00	177,812	432,471	432,471
2	北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進に向けて沿線都府県等で組織された期成同盟会の負担金	1.00	1,800	1,800	1,800
		合計	3.00	179,612	434,271	434,271

事業改善シート附表

□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検

事業番号	事業名	鉄道振興対策事業費				部局	企画振興部		課・室	交通政策課		
02 05 02							29年度	30年度	31年度			
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	31年度 実施内容（予定）	31年度 実施内容（実績）	31年度 実施 状況	当初 （千円）	当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）
1	鉄道振興対策事業費	地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を行う 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】			139,389	171,129	398,671	398,671		
1	鉄道振興対策事業費	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅における段差解消のため、必要なエレベーター等の設置に対して補助を行う 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】			20,000	6,333	30,000	30,000		
1	鉄道振興対策事業費	大系線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動			150	150	150	150		
1	鉄道振興対策事業費	大系線活性化協議会（仮称）負担金	負担金	・利用状況の厳しい大系線JR西日本区間における利用促進活動			-	-	500	500		
1	鉄道振興対策事業費	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動			200	200	200	200		
1	鉄道振興対策事業費	エコ通勤促進モデル事業負担金	負担金	マイカー通勤から公共交通機関利用への転換を促進させるためのモデル事業実施に対する負担金			-	-	2,950	2,950		
2	北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進等に係る国等へ要請活動（春、秋） ・建設促進に関する調査研究及び広報等			1,800	1,800	1,800	1,800		
合 計							161,539	179,612	434,271	434,271	0	0